

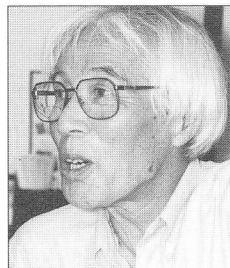
座談会



今井清隆さん



北山直人さん



笹倉慶造さん



林 澄子さん

松川べりを  
「花と緑の日本」を  
掲げる富山県の  
シンボルゾーンに！

〔出席者〕

今井清隆さん（富山土木事務所 所長）

金谷 英明さん（同 河川班技師）

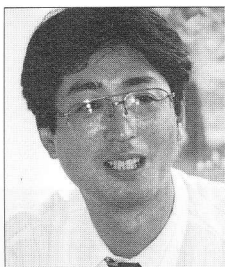
笹倉 慶造さん（元・富山県自然保護協会副会長）

北山直人さん（北山ナーセリー 社長）

林 澄子さん（年をとらないための生活講座 世話人）

〔司会〕 中村孝一

（月刊グッドラックとやま発行人兼編集長）



金谷英明さん

街の中心部に、花や緑で彩られた美しい川べりがあったらどんなに素晴らしいでしょう。水際の遊歩道を歩く時、鳥のさえずりや水のせせらぎが聞こえ、まるで峡谷に迷い込んだような非日常的な別世界で、心身共にリフレッシュできる。

川には遊覧船が行き交い、遊歩道沿いには、お洒落なカフェ

テラスなどもあって、にぎわいを演出する。夜はイルミネーションが美しく川面を照らします。こんなことができる可能性を秘めた街は富山以外に全国どこを探してもないだろう。私たちの祖先が残してくれた貴重な財産・松川べりにこんな街を造れないだろうか。

(本誌編集部)

## 大きな可能性を秘める 松川とその周辺

司会 富山県は、県政の3本柱の一つとして、「花と緑の日本一」を掲げています。今回は、県都富山市の中心部を流れる松川の一帯を「花と緑の日本一」のシンボルにできないか、というテーマです。

今井 松川の歴史をひもときますと、まさに「水の都・とやま」のシンボルにふさわしいように整備しなければならぬと思います。かつては神通川が磯部の付近から直角に曲がって、現在の松川のところを通っていました。そして、大きく西側に蛇行してまた

現在の神通川に戻っていた訳です。

このため、天正8年からの記録に現れただけでも100回以上の洪水に見舞われております。それで、明治に入りまして34年から36年にかけて、神通川本流の直線化「馳越(はせこし)工事」が行われて、まっすぐに付け替えた訳です。

そうなりますと、蛇行していた300m程の神通川河川敷というのは廃川敷になりまして、長い間放置されておりました。その後、それじゃいかんということ、区画整理事業で富岩運河の掘削土で埋め立てられ、県庁、市役所、電気ビルに至る官庁街に生まれ代わり、今の松川が神通川の

名残として整備されたという訳です。

松川の桜は、その改修工事に合わせて、昭和9年7月に、ある団体(風雅会)の記念事業として植えられたのが最初です。ところが、空襲で全て焼けてしまいましたので、現在の桜は、昭和24年以降に各種団体や市民の協力で、桜の木を持ち寄って少しずつ植えられたものです。

ところで、松川の石積みが殺風景だという指摘がございます。私どもがこれを施工したのは、12~3年前で、その当時は、最近はやりの「多自然型護岸」という言葉さえない時代でしたが、当時の汗と英知を絞って石積みの護岸にした訳で

す。しかし、当時としては先を見越した玉石護岸も最近の物差しから見れば少し物足りないというのも事実だと思っております。

**司会** 今から10年以上も前、今日ご出席頂いている北山社長から、アメリカのテキサス州にサンアントニオという町があるのをご存じですか、と言われて、私は全然知らなかったんです、すごい町なんだよ、と。その後、中沖知事も「青年の翼」で、自ら団長になって行って来られたという経緯があるんです。

そこは、川幅が松川と変わらないのに、いろんな仕掛けがしてあるといいますが、本当に素晴らしい風景や雰囲気を作りだしているんです。市民の皆さんの参

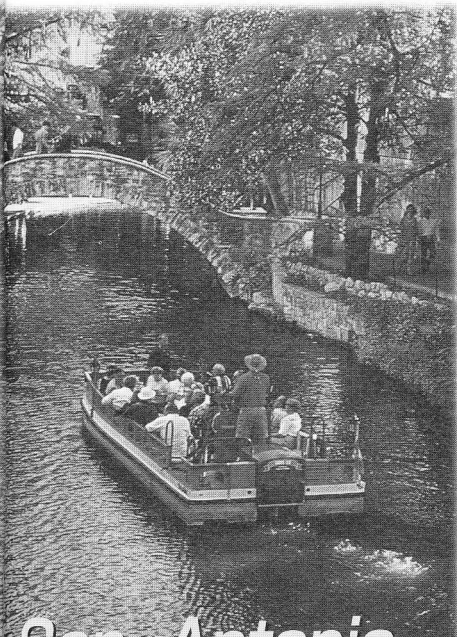
加によってこういった座談会をやっていくことが、夢に近いといけるんじゃないかと思っております。

**北山** 日本でも世界でも、水辺を生かした空間がたくさんできていますが、ちょうど富山の場合も、この松川が富山県の県都・富山市の中心であり、政治、文化全ての中心地が松川をはさんでその両側にある。ですから、ロケーション的には、一番富山のシンボリックな場所、その中でどういうふうな現在に合わせた、また、これから将来に向かっているいろんな価値を見いだすか。それは、観光であったり、人の潤いであったり、文化であったり、歴史であったり……。そういったいくつかもある価値を総合で

きる場所であり、また、広さも十分ここにあると思うんです。

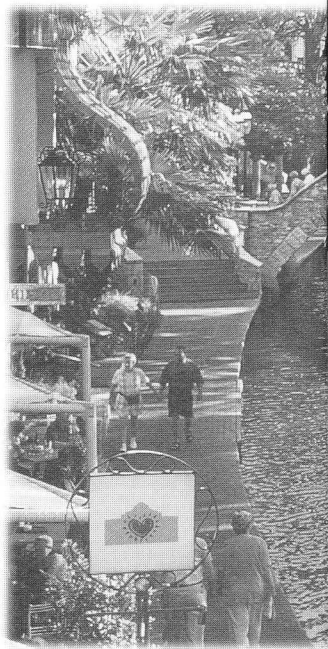
また、富山でよく言われる「遊ぶところが無い」というふうなアミューズ的な部分も含めて、将来に向けていい場所になりうる要素がすごく高い場所だと思えます。

そういうものをどう造っていくか。川だけを利用するのではなく、川の周囲を全て使って、川を生かし、水を生かし、緑を生かし、花を生かし、そして、その中で、人が最高に誇れるような場所・地域になりうる可能性が一番富山県で高い場所。新しい時代の価値観、また、産業にもつながってくるようなそんな気がするんです。従来型の生



# San Antonio

<http://numedia.tddc.net/rb/>  
[Virtual San Antonio Paseo del Rio]



小誌でたびたび紹介している  
サンアントニオのリバーウォークを仮想体験してみよう!

産中心じゃなくて、いろんな意味での利用価値を含めて、すごく「玉」的な場所、磨けばどうにでも変わるよくな。そういう場所じゃないかと思えます。これが中心となって、人が集まる、楽しめる、いろんなものが見れる、語れる。そういうふうないろんなものを含めた場所になって欲しいなと思います。

## 松川の歴史的 事実を一つの コンセプトに

笹倉 さきほど、今井さんがおっしゃられたような松川の歴史的事実をもう少し何らかの形で強調した方がいいんじゃないかと思えます。つまり、神通川の超越工事のできたという事実ですね。これなんか、若い学生にその経緯を話したことがあるんですけど、知らな

いんですよね。初めて聞いて、あれ?というような顔をしているんです。そういう歴史的事実をなんらかの形で今後の整備計画の中に重要なコンセプトとして一つ取り上げるべきじゃないかと思うんです。全国どこへ行っても、これくらいの規模の川の周辺の整備というのは、どうもこう言っちゃ悪いんですがワンパターンになっちゃうんですね。押しつけがましい解説は必要ないんですが、なんらかの形で神通川との結びつき、富岩運河の結びつきがわかるような方法を考えていくべきじゃないかと思えますね。

北山 そうですね。一貫した考え方とか、テーマ性。そういうなにか一つのテーマがあって、それにのっとって計画が全部つながっていると、それなりにああそうかなとわかってくるんで

すね。小出しの予算と計画でやるからおかしくなってしまう。これだけいいロケーションの所では、これから21世紀、新しい時代、新しい世代の人達に受け継いで欲しいようなものを今から一つのプロジェクトとしてやっていってもいいような時代になってきたんじゃないかと思うんですね。

金谷 私は、松川を担当して3年くらいになるんですが、松川の水について一時、大分勉強したことがあります。上流の方に土川という川があるんですけど、そこから浄化用の取水をするためダムを昭和59年に建設省さんの方で造って頂いたんですけど、その事業を契機に水質は飛躍的にきれいになってきています。ただ、松川は、洪水時に、上流で水を遮断し、神通川に全部洪水を掃いてしまいうようになってい



▲水門が完備され、川の中に街をつくることを可能にした。  
(手前は清掃用ポート)

ですが、この時下水が入るんです。やはりどうしても生活排水から出るヘドロ系の細かい砂がたまります。そこで、以前はブルドーザーでやっていましたが、量自体も下水道の整備があつて少しずつ減つておるものですから、今春は、バキュームカーみたいなもので吸い上げました。

それから水草がかなり生えております。これは魚類等に対してはある程度は隠れ家になっていいんでしようが、やっぱりゴミがひっかかたりすると汚らしいのですので、目に余るようになつた時に、市さんとも協力しながら刈り取つています。

司会 ありがとうございます。いろいろ努力してお

られるということですね。林 私は、城址公園が顔であり、松川べりというのが額縁じゃないかと思えます。それで、公園をもう少し良くして、それにあつた松川べりを造つた方が調和がとれていいと考えています。それと、中心部が空洞化してきたのなら、いつそのこともとの富山城址に作り替えて魅力ある公園にすれば、たくさんの方が集まってくるようになると思えます。

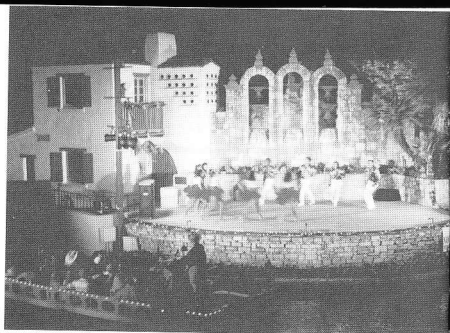
司会 今、市としては、元の内堀のあつた現在の市の図書館、それから前の市町村会館、前の消防署の庁舎にかけての一带、それから南側の民有地を買収し、できたら、お堀だつたところとは、お堀だつたところと

て復元し、一帯を公園化できないか考えているようですね。

## まずは、水辺の遊歩道をつなぐ ことから始めよう

今井 松川を「水の都・とやま」のシンボル空間にするには、まだまだ智慧を出さなければならぬと思っています。私ども県では、昨年から、松川を中心として、富山市全域を対象に、「水と緑のネットワーク構想」というものに取り組んでいるんですよ。今年あたり、ある程度肉付けもし、構想をもつていかなければならないことになっておるんですけど。松川、私たちの川の沿線にはいろいろなお寺とか地藏さんとかありますね。そういったものをつないでいって、ある程度物語的なものにできないかと。

今、考えているのは、松川の中にある遊歩道をつないでずつと下って、神通川へ行って、日赤の方までまわる。こういったネットワークを考えています。それも、ただ単に結ぶんじゃない



▲川辺に設けられたリバー劇場では、毎夜楽しいショーが上演される。  
すね。

**今井** そうですね。よくサ  
ンアントニオの話が出来ます  
けれど、確かに下がってしま  
えば、世界が違うんですね。身  
近なものがあるんですから、  
まずそこからやってみるかとい  
う話ですね。その時に、先程か  
ら問題となっている遊歩道の冠  
水を防ぐにはどうすべきか。ヘ  
ドロの堆積をどうするか。石積  
みをもう少しセンスの良い物に  
できないか、あるいは植栽でカ  
バーできないかなどを、この事  
業の中で考えていきたいです。

**北山** やってみると全然違  
いますよ。やって、人に歩いて  
もらおう。そしたら、そこから  
見えてくるものもまた違うな  
とかね。

**今井** それでね、この問題  
をもう一つ先に進める時に、  
避けて通れない問題は、市民  
のコンセンサスをどう得るか  
という話ですね。最初にお話  
しましたが、現在の松川の桜並  
木は、市民団体などの協力の  
もとにつくったということも  
ありますので、整備をするに  
しても、地域のかかわりの中  
でのメンテナンスも含めて考  
えていきたいと思

**司会** 素晴らしい構想です  
ね。遊歩道がつながると面白  
いと思うんですね。道路面上  
に上がらないで、川べりを歩  
けると全然雰囲気違いますか  
らね。車も見えないように生  
け垣などで工夫すれば自然公  
園の中を歩いている気分にな  
れると思いますよ。峡谷の中  
の川べりを歩く、まさに町中  
に非日常性の世界が生まれる  
訳で

います。現在の松川は、郷土  
の先人達が知恵を絞って造  
ってきたものです。この川を  
次代に引き継ぐ為には、こ  
れからの川づくりをどうす  
べきかをこのような座談会  
等で大いに議論して頂き、  
誇りと親しみを感じる富山  
らしい川づくりを努めてい  
きたいと思っていま

**司会** 大変貴重なご意見を  
たくさん頂き、ありがとうございます  
ございました。これからも  
いろいろとご指導頂ければ  
と思います。

25年の実績と眼科専門医による  
トータルケアで安心をお届けする

特別価格で提供中  
30%～OFF

**土田コンタクトレンズ**



富山市西町5-18  
大和アパート大和口通り側  
☎(0764)25-8765